

## アグリ科学教室事業に要する経費

【32（32）百万円】

### 事業のポイント

農林水産業に関する研究開発の状況や成果等について、国民にわかりやすく伝えるため、自ら体験するイベントに重点を置いた事業「アグリ科学教室事業」を実施します。

（現状）

- ・ 我が国では青少年の「科学技術離れ」「理科離れ」が指摘  
（理科が「大好き」又は「好き」と回答した中学2年生の割合：我が国55%、国際平均79%（国際数学・理科教育調査））
- ・ 総合技術会議の答申でも、科学技術に対する国民の理解を深めるため、科学技術の意義や内容を分かりやすい言葉で発信することが求められている

など

### 政策目標

農林水産業に関する研究開発の状況や成果等について、青少年や消費者等への理解の促進

<内容>

1. 青少年向けには、研究開発の重要性と科学技術に対する理解の促進を図るため、「アグリ科学教室」を開催し、「食」と「農」の体験学習等を実施します。
2. 消費者向けには、食品の機能性や新品種の紹介等について科学的な解説・講話をわかりやすく行うとともに、食育に関連する研究成果等について各種セミナーを開催します。
3. 生産者向けには、主に団体見学者を対象に、特定の技術的課題についてわかりやすく解説する「新技術教室」を実施します。

[担当課：農林水産技術会議事務局技術政策課（03-3501-9886（直））]